

科学的フォーム

山口大教授が解説

となみ野野球研

南砺、砺波市の野球指導者でつくる「となみ野野球研究会」の競技力向上講習会は9日、南砺市井波中グラウンドなどで開かれた。山口大の坂井伸之教授が物理学の観点からボールに力が伝わる投球や打撃フォームを解説した。

県内の高校野球の指導者、部員47人が出席。坂井教授は「打撃は腰を十分に

落として体重移動する」、「投球は投げる瞬間、前膝が伸展する」と科学的に説



選手の投球フォームをタブレットで確認する坂井教授（左奥）

明。グラウンドではタブレットで投手の投球を撮影して、改善点を助言した。

8月に夏の甲子園に出場した富山商の上田海翔投手（3年）は「参考になった。大学でも野球を続けるので、いかにしたい」と話した。

坂井教授は富山商野球部員や、プロ野球・巨人に入団する森田駿哉投手（富山商OB、ホンダ鈴鹿）らにフォームを助言し、対象校を広げた講習会を企画した。10日は砺波市庄西中で開かれる。